

第1回長崎みらい創造セッション(3月5日)
及び
「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート
結果報告

長崎大学

赤石孝次 (人文社会科学域・学域長)

akaishi@nagasaki-u.ac.jp

西村宣彦 (人文社会科学域副学域長・経済学部副学部長)

nishimra@nagasaki-u.ac.jp

3月5日 第1回 ワークショップ 内容

令和4年3月5日13:30～16:00に主題のオンラインワークショップを行いました。高校生、大学生、高校教員、大学教員、自治体職員、民間企業の方など、一部参加の方をいれと122名の参加をいただきました。

最初にこのワークショップの開催趣旨を赤石人文社会学域長から報告いただきました。その後、先行して実施した社会人向けの大学教育さらには社会人教育に関するオンラインアンケート調査結果（461名分）の報告を西村人文社会学域副学域長が行いました。

その後、参加者が13のチームに分かれ、テーブルファシリテータのもと、以下のテーマでのグループワークを行いました。

テーマ1：自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？

テーマ2：そのような学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？

結果の概要は以下のとおりです。

テーマ1の持つべき知識や能力については、以下が抽出されました。

コミュニケーション能力、受容性・多様性への対応力、外から長崎を見る力、地域についての知識、クリティカル・シンキング、分析力・統計学・情報処理能力、社会課題の認識能力、論理的思考力、課題解決力、挑戦力・GRIT、巻き込み力

続いて、テーマ2（テーマ1で必要な能力を育成するための学びの形態や学習科目）については、以下の項目が抽出されました。

アート、必要な知識とその獲得方法、実践力、社会人の学びとの接続
グローバル・多様な社会との連携、地域連携プラットフォーム（学校間連携・自治体との連携、企業との連携）

その後、全員で議論を共有しました。

3月5日 第1回 ワークショップ内容

グループワーク1

自らの人生を豊かにし、地域を元気に
する人材が、持つべき知識や能力はど
のようなものだと思いますか？

業務の上での専門的知識

世の中の事象が様々
基礎知識が必要
自分で判断できる

数値からどう考えるか。
因果等をどのようにとらえるか
統計学
長崎のことを統計で知る
分析力

データ分析能力
情報処理能力
情報収集能力
情報収集能力
情報が入ってくる仕組みを創れる力

社会課題の認識能力
事象から課題や方向性を見出す力
問題発見力(地域を愛しているからこそ)
気づく力
気づきを育てる場
課題を見つけるチカラ
困りごとに気づく

課題解決力
問題解決能力
課題解決力
課題解決力、
解決方法を考える力
創造的な解決策を発想できる能力
問題解決能力:課題に対するアクションを考えられる力
構想する力。現状を変える力。

考え方のフレームを学ぶ
情報をどう知識
に変えるか?
知識の理解/吟味/深掘り
読解力 自分で考える力
思考力・自分で考える力
考える学び 編集力

思い込みを壊す
受容する力、受け入れる力、寛容さ
他者から新しい何かを受け入れ、面白いと思える力
足りないものを認識 自己分析
他を知る、気づく力

多様性
異年齢の関わりがあるとよりよい
異なる価値観を受け入れる
違いから自分を知る

今ある価値観を疑いつづける能力
思われていることが本当なのかということがわかる
地域を焦点に当ててではなく、疑問に思うことを議論

STEAM教育
Artとは、ものをつくるデザイン志向
リベラルアーツの基礎教育
広い視野
勉強する意味を学ぶことができていて。
今要らないものに光?

クリエイティブさ
アイデアを活かす
アイデアを募る
想像力、創造力
ほんやりした意見、考えをまとめ、企画、提案
新しいものへの好奇心
見る、聞くが感性を磨く

プレゼンテーション能力 相手の意見をしっかり聞く力
聞く側のことを想像して話す力 聴く力
自分で考え、組み立て、伝える力 引き出す力

コミュニケーション能力
対話する力、柔軟な対話力 議論をしたときの質問
共感する力 ディベート
ディベート力

外から長崎を見る経験が必要
外に対する興味。日本人は国内に留まりすぎている?
長崎を出る=外を知ること
留学 英語
外から長崎を見る 言語能力

社会人が学ぶ機会、場が少ない
卒業後も大学がサポートする生涯教育の場
学生と企業とのマッチング
意欲的な教育力

トライする力
挑戦する姿勢
傑作を作り続けたいと思ううちから
試す勇氣
行動力(長崎が好きで移住した)
GRIT 自己肯定感
突破力
行動して達成できている人
新しい仕事への挑戦
失敗を恐れずに行動する力
失敗を面白がることのできる考え方

巻き込む力
巻き込む力
色んな人を巻き込む力
人脈を作る力
力を合わせる

愛地域心
地域を愛する
自分の町のことを知る
長崎の産業について興味を持つ
地域についてわかる授業があると良い。
大学に持ち帰り討論する場があると良い。
ふるさと教育
長崎独特の歴史 シビックプライド
長崎が好きでないひとに長崎を知ってもらう
人をもてなす力が長崎県民は高い

3月5日 第1回 ワークショップ内容

グループワーク2

そのような学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？

プラネタリーヘルス・ピース？

SDGs ゴール設定
「その地域のこと」とは違う「オリジナルの学べる事」

誰もが納得できるようなもの
「〇〇ならは」の価値を創造する

長崎らしさ・長崎だからその教育

グローバル・多様な社会との連携

グローバルも、日本人だけの枠にとらわれない
授業の授業を伸ばして、国内外のものとリンクをさせる。

留学 留学 海外

県外の学び、気付き
外からの人と長崎の人

多角的な思考
そとを知る機会
長崎の方言
高齢者の方の対面授業

いろんなことを学んできた人に先生をしてみよう
学校だけでなく、社会で学べることを
企業の人に一コマ担当してもらおう
転勤で長崎に来た人

学校間連携

他大学、異年齢、高校生との地域開発など
高大連携：高校生と大学生が一緒に学んで発想力を展開
高校生と大学生との繋がりを増やしたい。
大学の先生とくに高校に来てもらう。
学生同士のコラボ
地域とつながる 中高生ともか
県内高校では垣根を越えて

STEAMのA

★アート★

自然と触れ合う
多様性
ジェンダー
即興演劇
国際交流

演劇、即興演劇をやってみる
音楽国際交流：ビデオ交流
地域のアーティストとの連携プログラム
映像をつかったロールプレイ
芸術

リベラルアーツ
倫理観
デザイン思考
問題解決 プレスト

大学のイメージ

以前は「大学=煩業」の概念

アカデミックハラスメント

今はシラバスを確認してあまり知らないまま受講

今は大学院行っても普通の人と同じくらい

必要な知識とその獲得方法

情報収集
調査研究
NR 長崎新聞 特集 認識させるメディアとして有効
データ分析・統計

座って学ぶ場にならない
主体的な意見交換
アクティブラーニング

変身だけでなく、主体的に
グループで
答えがない問題を模索する
知識は調べたら出てくる
主語が学生の教育
PBL 興味を持って授業をとれるように

ファシリテーション
ゴール設定
協同作業
グループワーク

大学での学び方を学ぶ
学びについて考える機会必要
自分たちの学習について振り返る
教授と議論

相手が求めていることを知ることを主体的に
米大学は、設置地域について学ぶというわけではない
経済への関心、視野を広げる

形に囚われると本質を見失う

地域連携プラットフォーム

タテヨコナメの産官学連携
県内の大学 高校 企業 世代×各所属つながり共通のプラットフォーム
良い意味でのコト本
他の人を知る

繋がりが
ネットワーク軽く様々な所で話聞けるように
外(政治)に関心を持つ

行政に、企業から、連携したいという声
フィールドワークで地元の方や地域の方と話すことで、触れ合いを作り、就職につながる。

自治体との連携

離島 PBL
座席とフィールドワーク
離島の活性化しなまび
プロセスの中での役割分担
長崎の課題を発見する中での学び

自治体の問題解決
地域との学び合い(社会教育)
社会課題を住民含めて考える
地域課題を大学の研究テーマにあげる
地域を知り
地域に飛び込む
地域を知る
地域の課題に学生が触れ合う。
大学・自治体とも共に活動
地域課題に取り組み
ふるさとおこしNPO 大学と行政のつながり
実践として、学生と地域のつながりを提供

フィールドワーク

地域に向かい活動
アウトプットの場を増やす
コンテスト プログラム
夢中になれること
危機
遊び
このふたつを
4年間の間に体験

実践力

社会を変える体験
社会を変えられた経験
失敗してもらおう
失敗を奨励
困難なことに挑戦
とにかくやってみる
挑戦 行動
認める
認める
変えたいと思うことに
関心・通常とおもうこと

社会人との連携

1年間学費払えば施設使い放題
学費さえ払えば色んな話聞ける
単位互換制度
別の大学の単位 単位・自由に学べるシステム
資格など

PBL
いるんな人が受講できる環境を
社会人同士で話す場がほとんどない。
社会人が学ぶ場 持続していく学び
ビジネススクールの新設

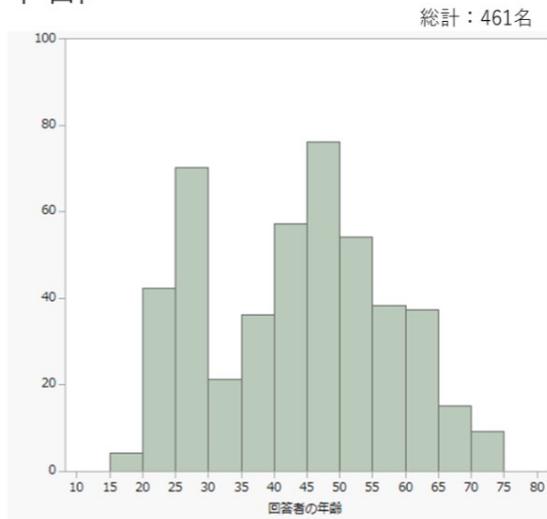
自由に

企業との連携

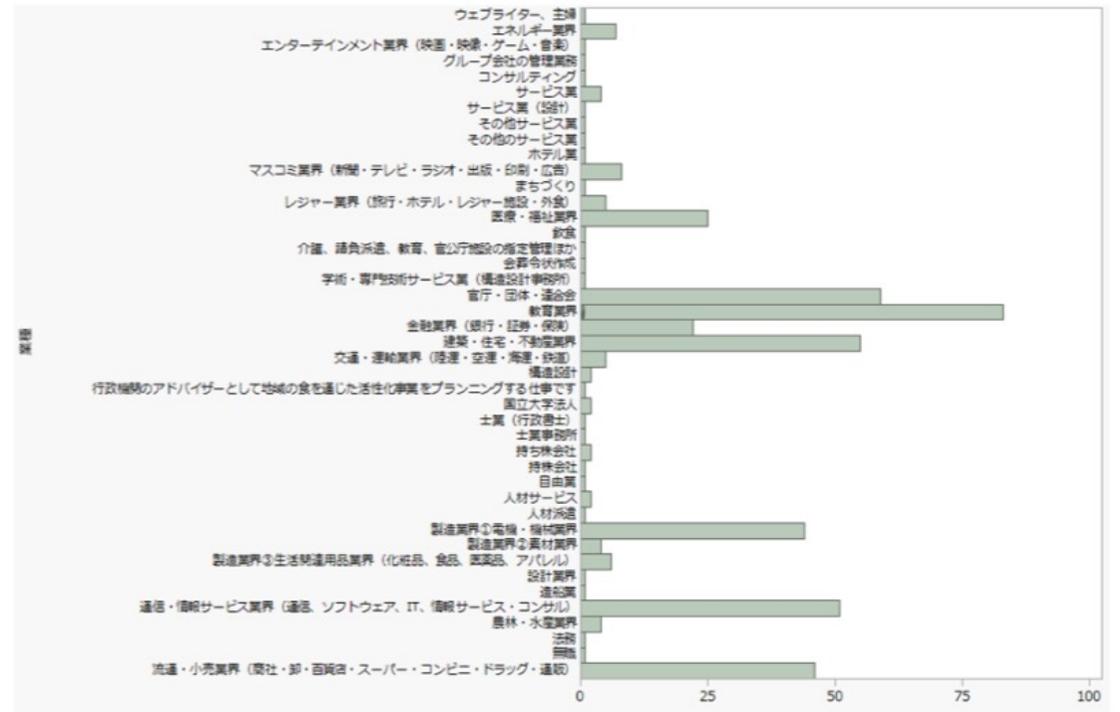
インターンシップ 課題発見
インターンシップ
給料がもらえる、履歴に残る
インターンシップ
インターンシップ 制度
インターンに力を入れている。
公募
企業向けに学生の力を借りる、マッチング
企業の魅力活用もしていければ
外部講師に経営者 起業家マインド
アントレプレナー
イノベーションを考えているような企業に対しての触れ合いを入れる。
長崎の中の仕事をまずは知る
学生起業の支援
地元の産業を知る
ビジネス連携
長崎の団体 スタートアップの団体と交流
社会体験(ビジネス)をできる場
観光

「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

回答者の年齢

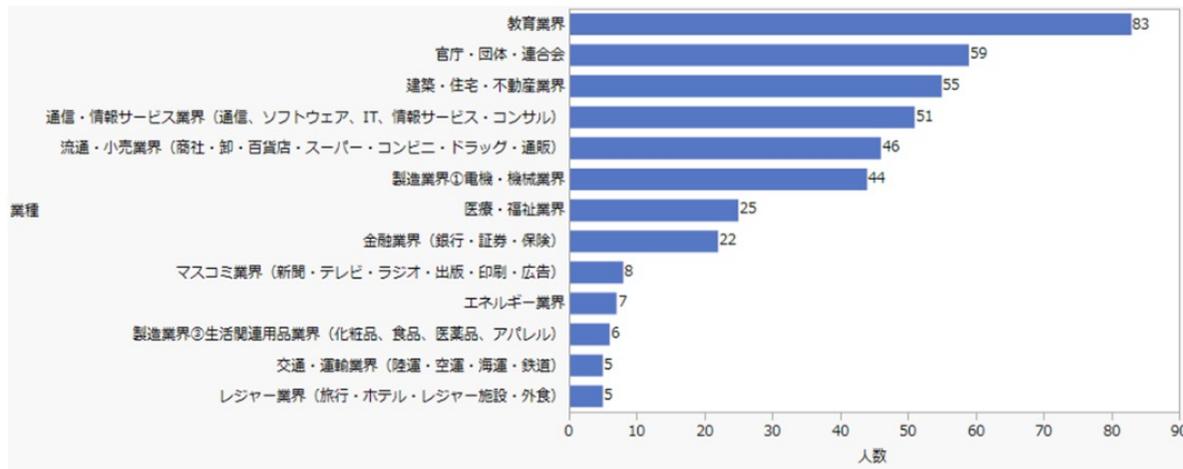


回答者の職業

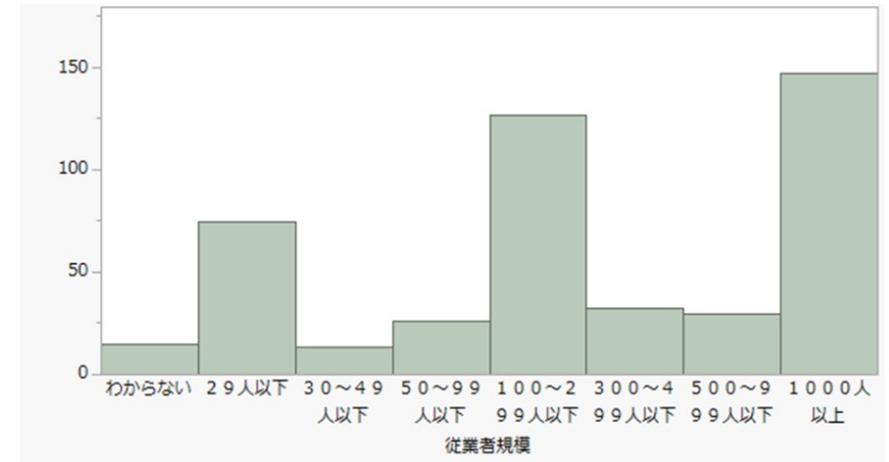


「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

回答者の職業 (5名以上回答のみ)

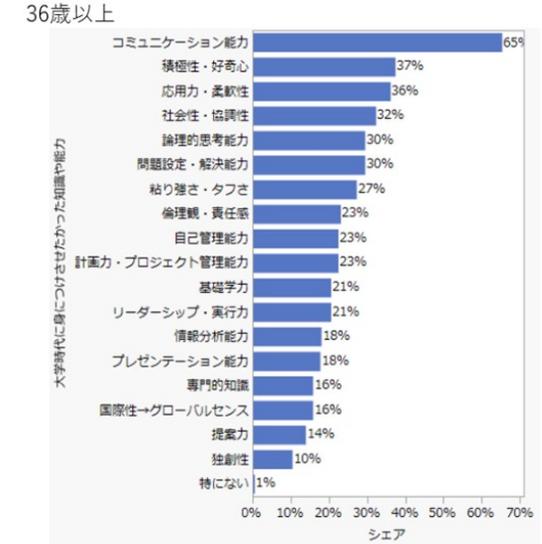
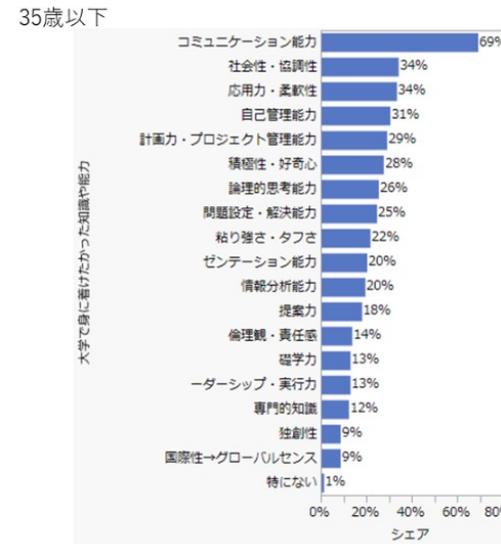
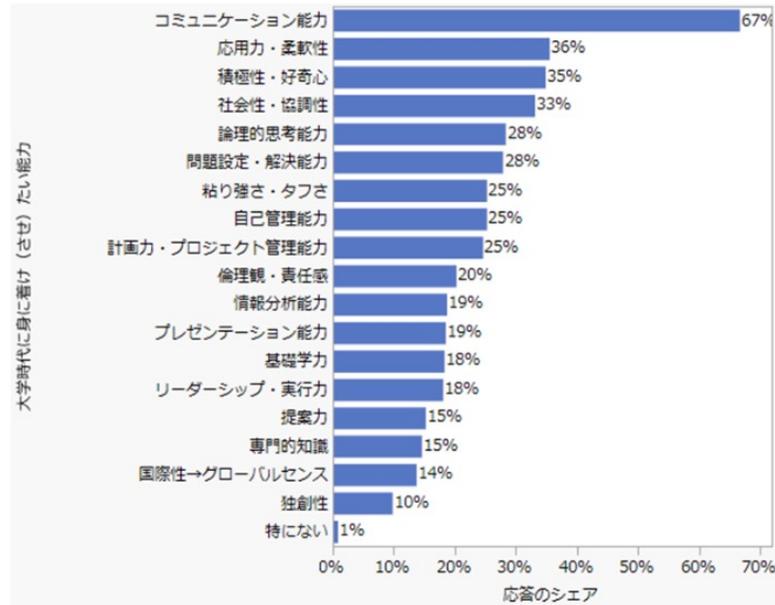


回答者の所属の従業者規模



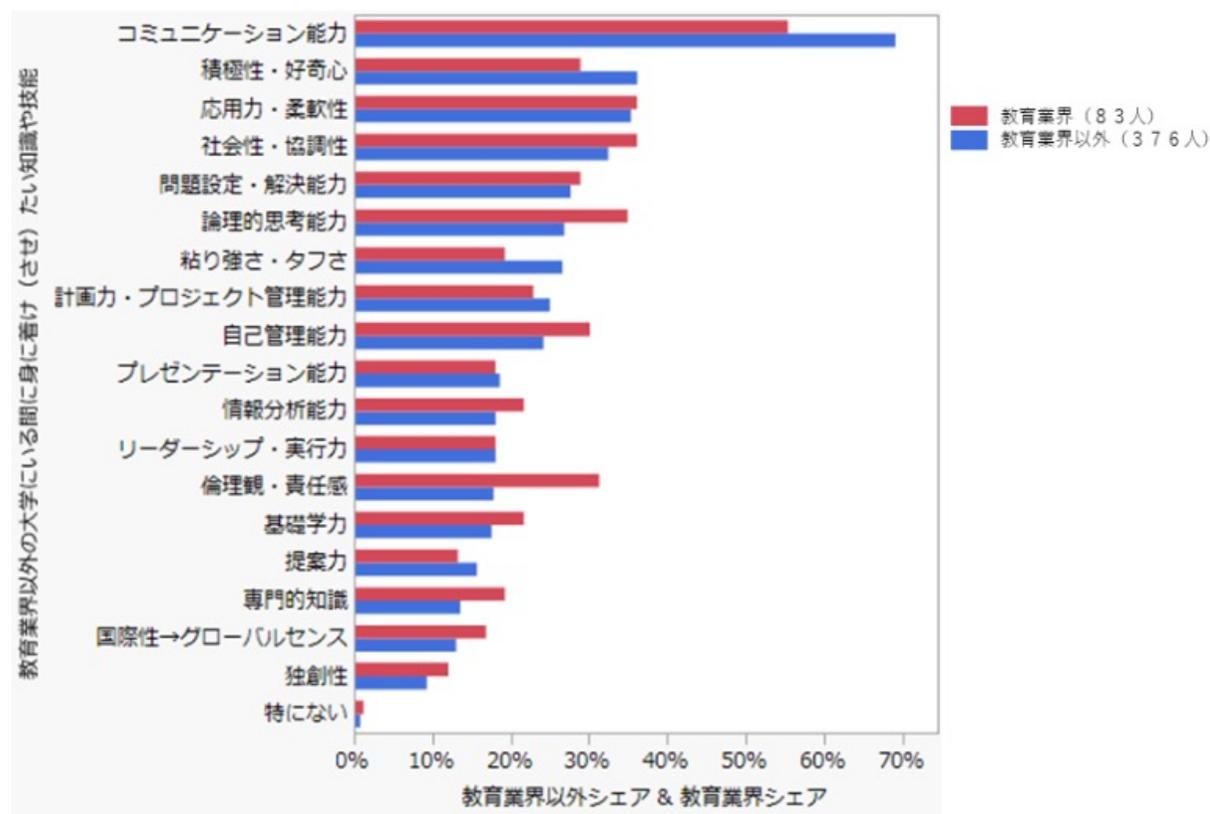
「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

大学時代に身に着け（させ）たい知識や能力 大学時代に身に着け（させ）たい知識や能力（年齢）



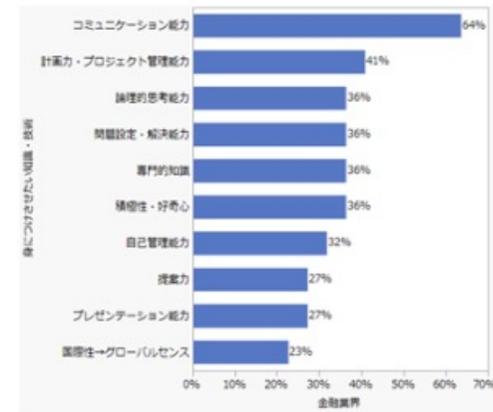
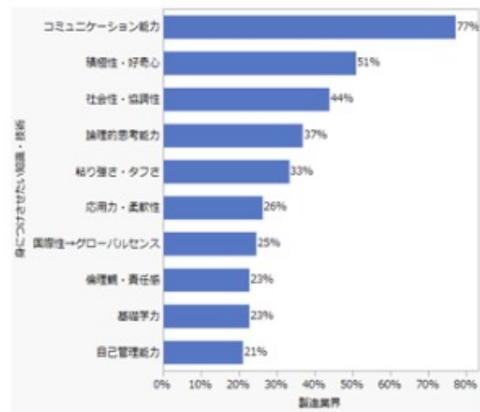
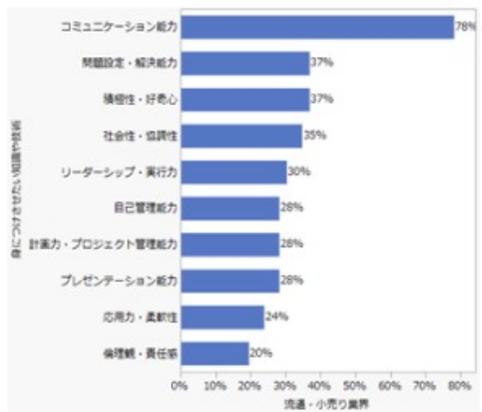
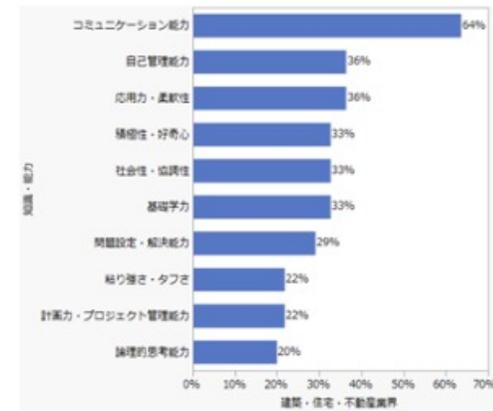
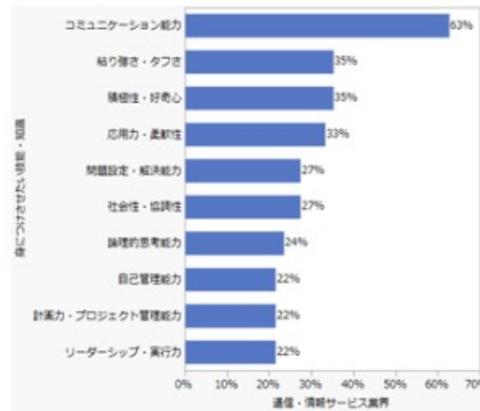
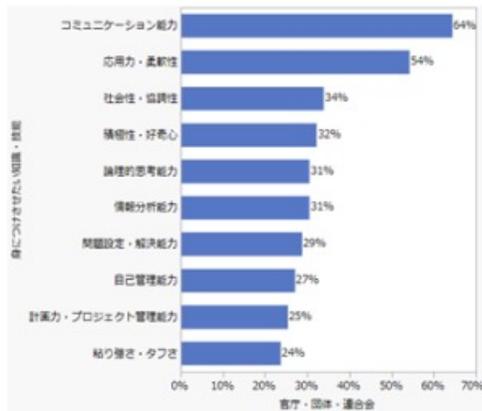
「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

大学時代に身に着け（させ）たい知識や能力（教育業界外・内）



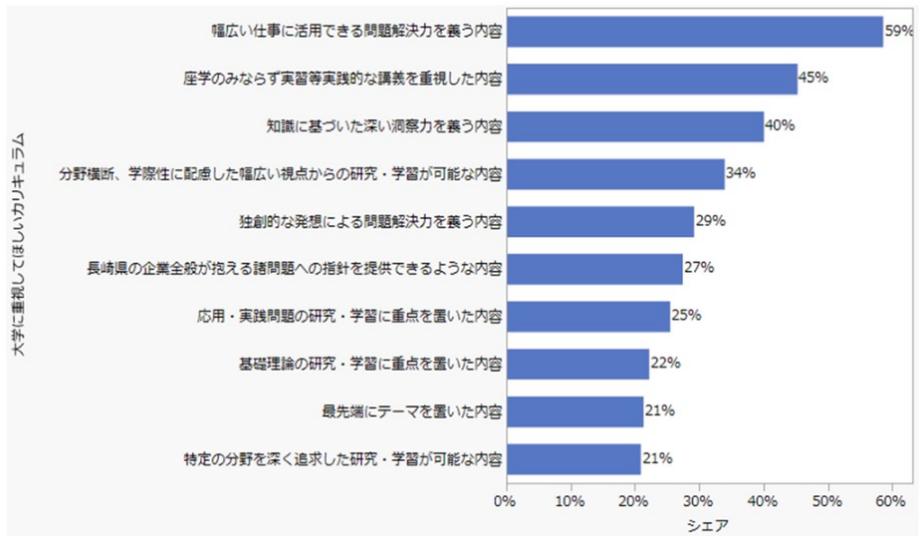
「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

各業界毎の身につけ（させ）たい知識や技術（トップ10）

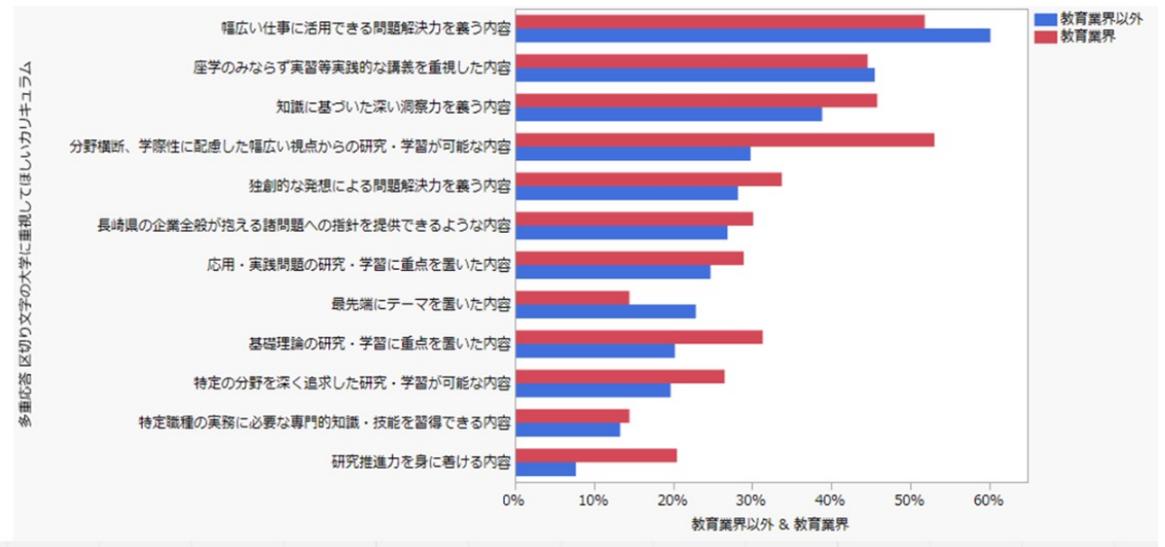


「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

大学に重視してほしいカリキュラム（上位10位まで）

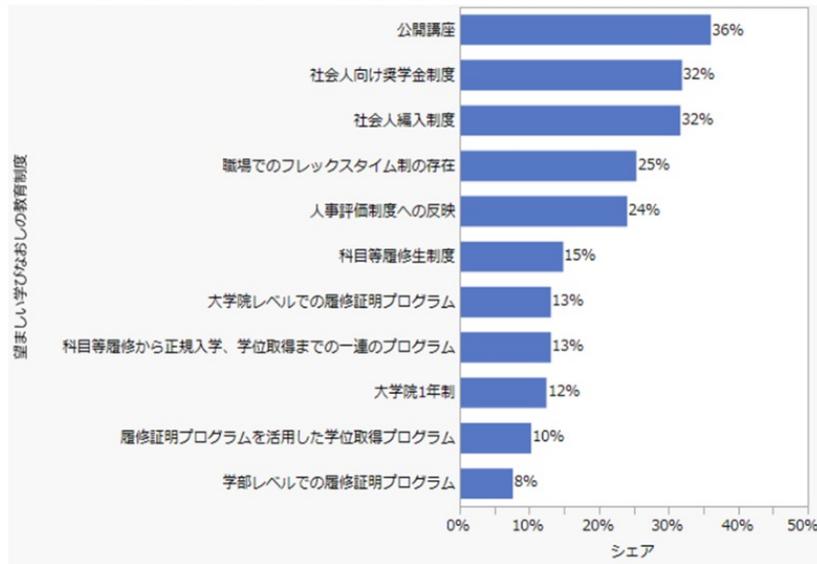


大学に重視してほしいカリキュラム（上位10位まで 教育業界外・内）

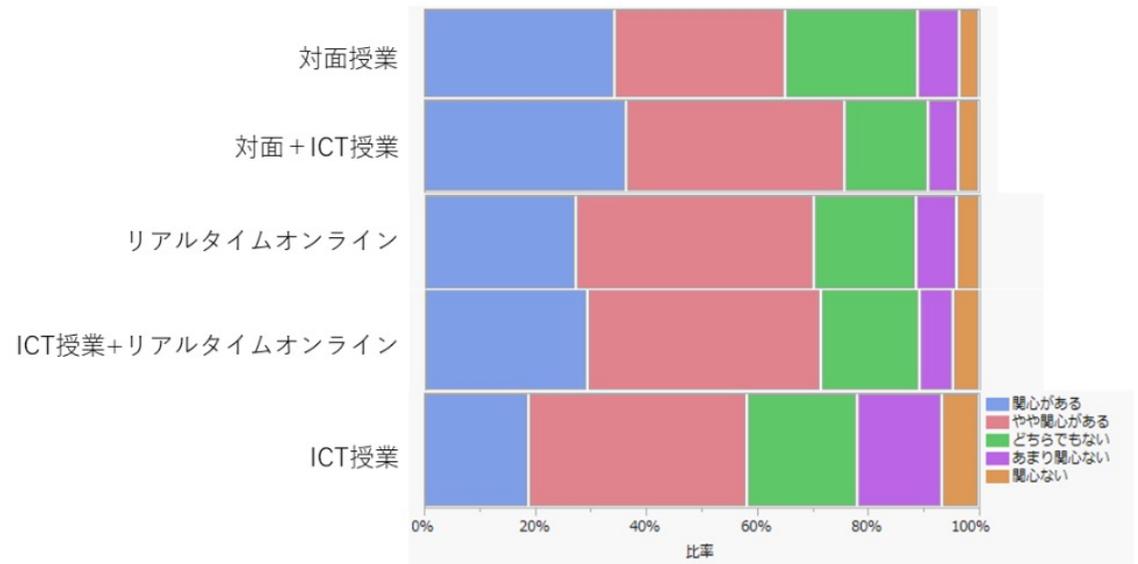


「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

望ましい学び直しの教育制度 (上位 1 1 位)

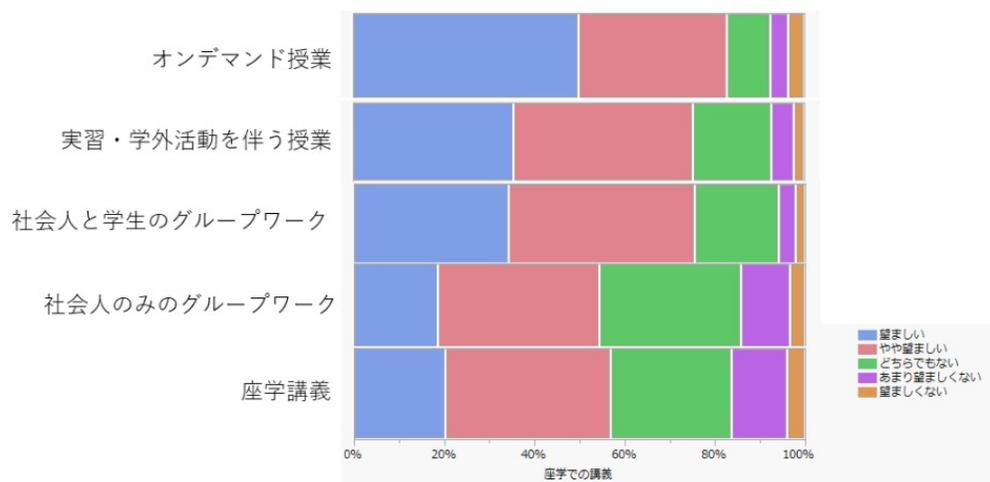


望ましい授業提供方式

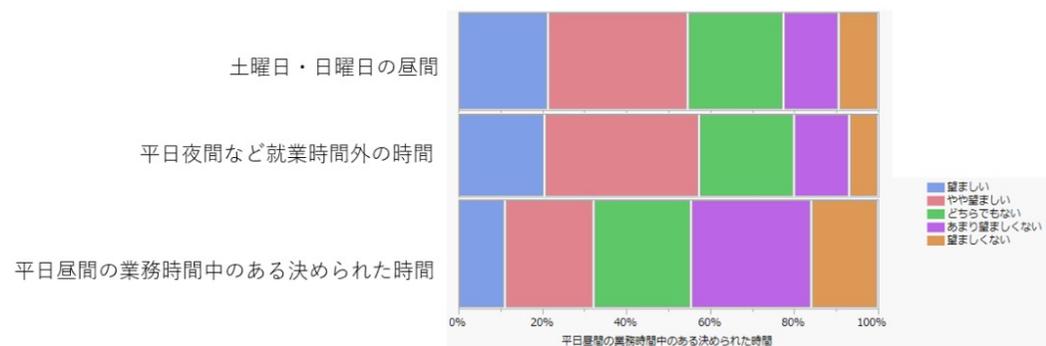


「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

望ましい授業提供方法

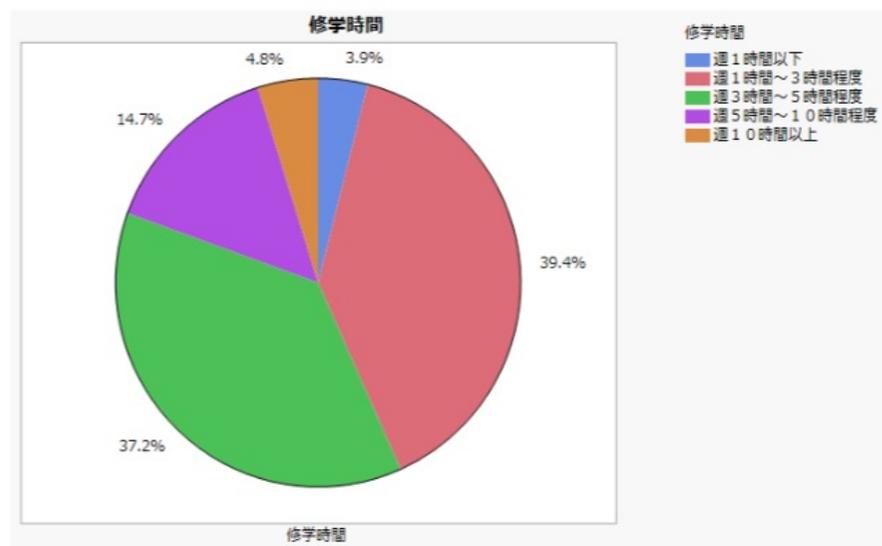


望ましい開講時間帯

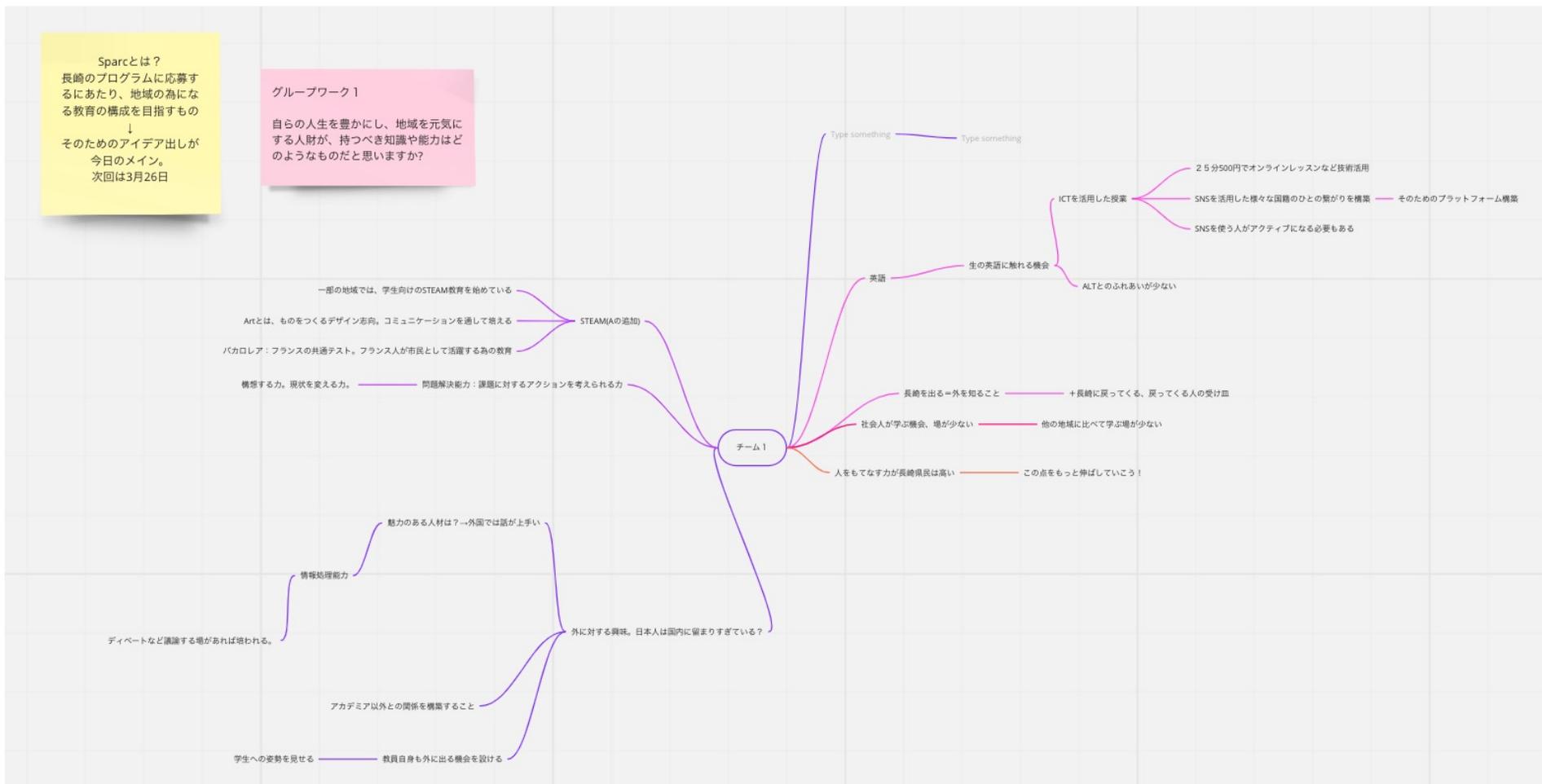


「長崎を元気にする人財の育成」に関するアンケート調査結果 (令和4年3月5日現在)

望ましい修学時間

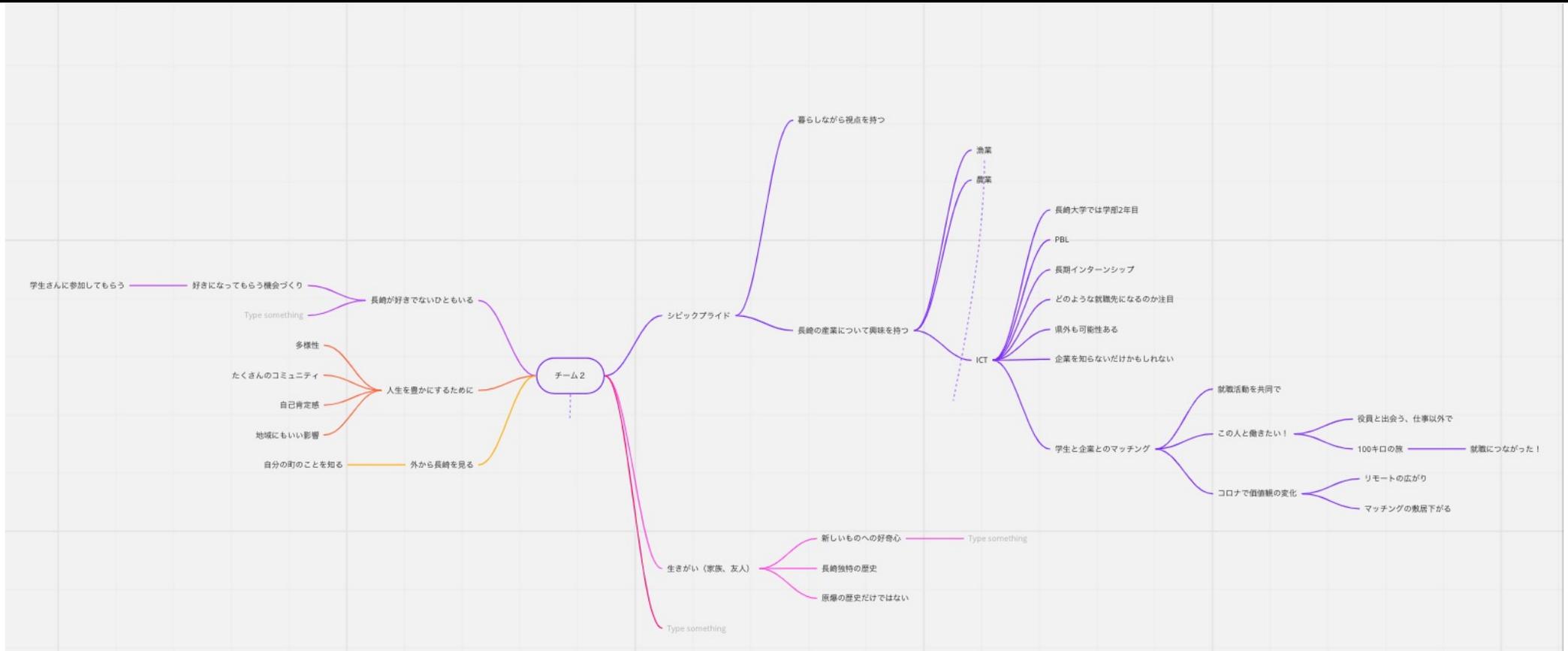


(参考) WSグループワーク内容詳細
 グループワーク1_1：自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



グループワーク1_2

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



グループワーク1_4

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？

<長崎について>

- ・九州からみた長崎の魅力と、九州外、国外からみた長崎の魅力が違う
- ・名だたる小説家が長崎を舞台にしている⇒**長崎がそれだけ影響力がある。でも、長崎の人は気づいていない**
- ・女性が出がち⇒女性が活躍する場がない
- ・長崎は安定した職を得られない⇒収入が得られないから**出ていく？**
- ・長崎の人たちは外に出たがる、都会にあこがれがある？
- ・長崎は観光地のイメージ、いなかっぽい(いなかっぽい良さ)
- ・活気が少なく感じる
- ・若者(学生)は都会のコンテンツのほうが惹かれる
 - ⇒**敢えて1回都会に出て、その後戻ってきてくれれば**
 - 都会から長崎へ行って、そのまま長崎に。大学を通して長崎によぶ。現場も外から人を呼ぶことにトライ。**
- ・都会に出たあと戻ってくる場がない
 - ⇒じゃあ企業してよい環境作ればいいのでは？
 - ⇒**トライする力や企業する意欲がある人がいない**、企業を作る制度や自由度がない

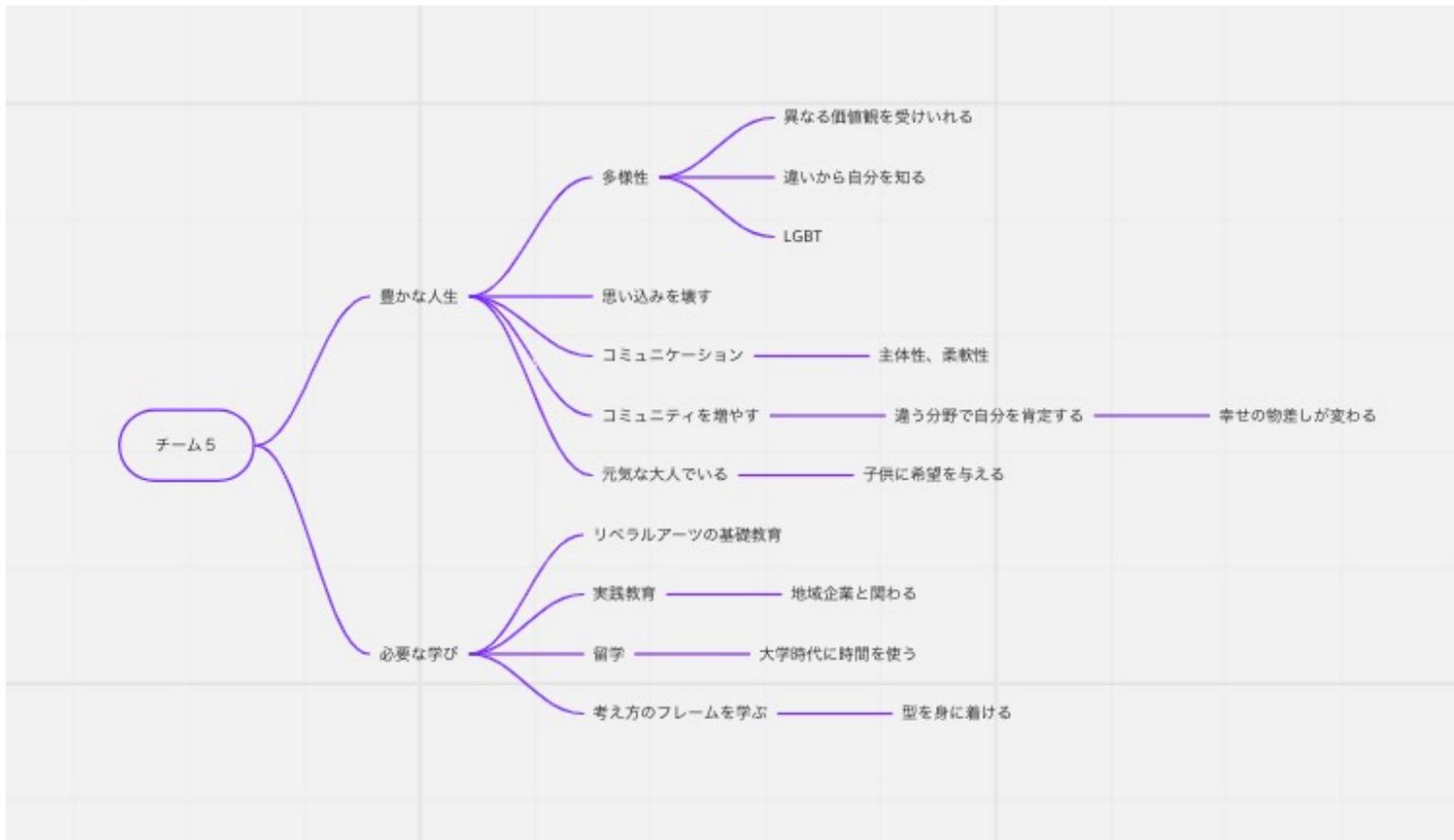
<そのために必要な力>

- ・**トライする力、自分で考える力**

<その力を養うための大学>

- ・高校の延長になってしまっている
 - ⇒大学は自由な空間、チャンスがある場であるべき(やりたいことをやる自由がある場所)
- ・長崎をトレーニングの場に
- ・大学は卒業後もサポートする。生涯教育の場。

グループワーク1_5
自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



グループワーク1_6

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人材が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？

グループワーク1

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人材が
持つべき知識や能力はどういったものか

(イメージ) アクションをおこせるようになる社会人

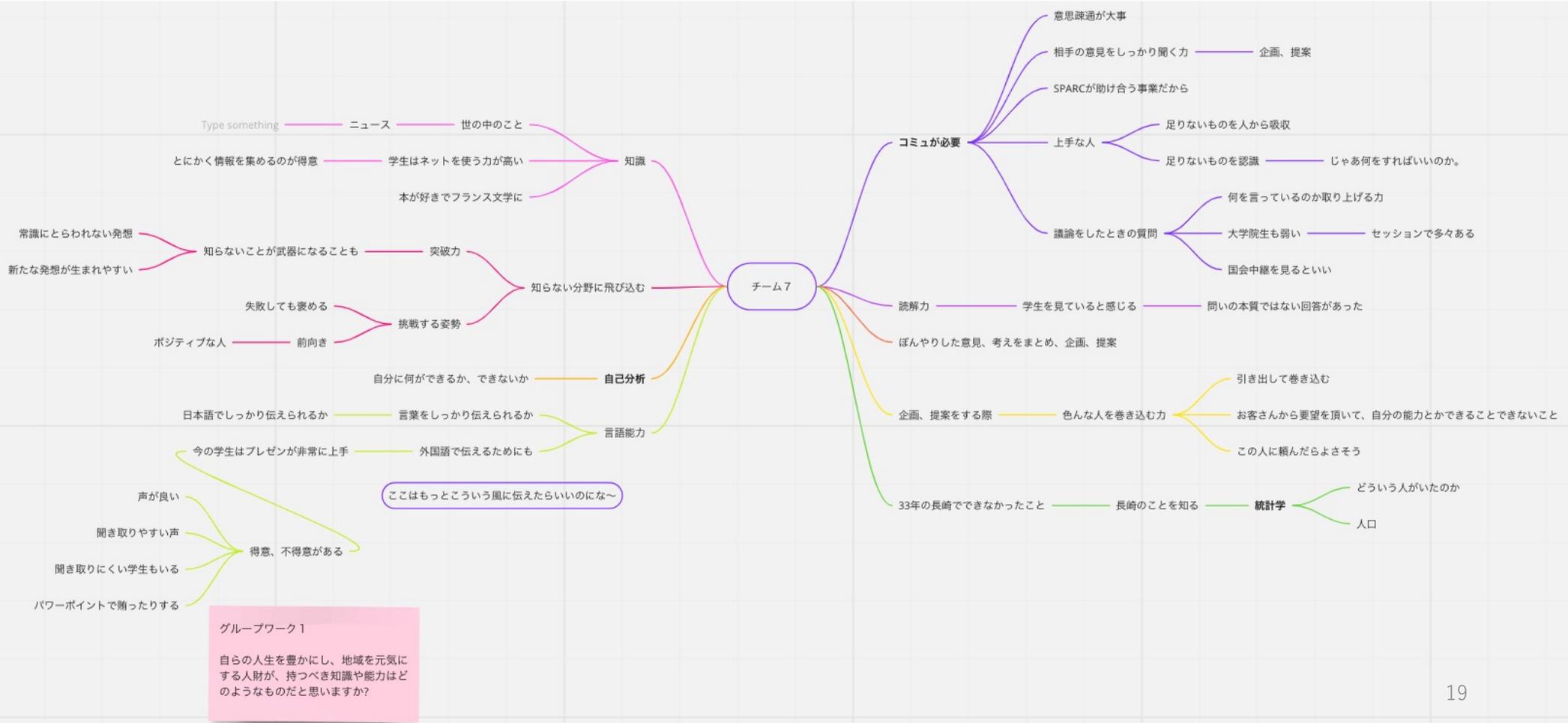
(必要な能力) 情報収集/情報吟味/巻き込み力

コミュニケーション能力



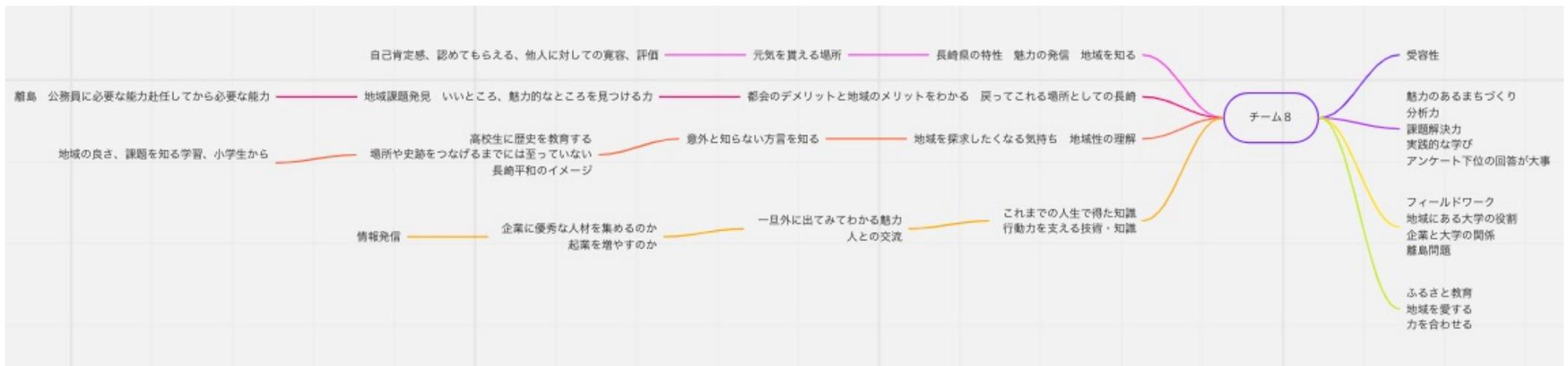
グループワーク1_7

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



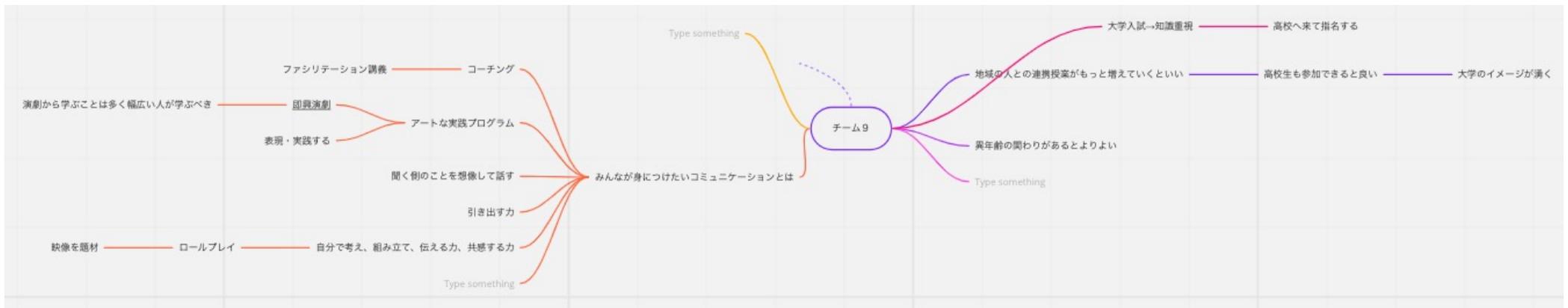
グループワーク 1_8

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



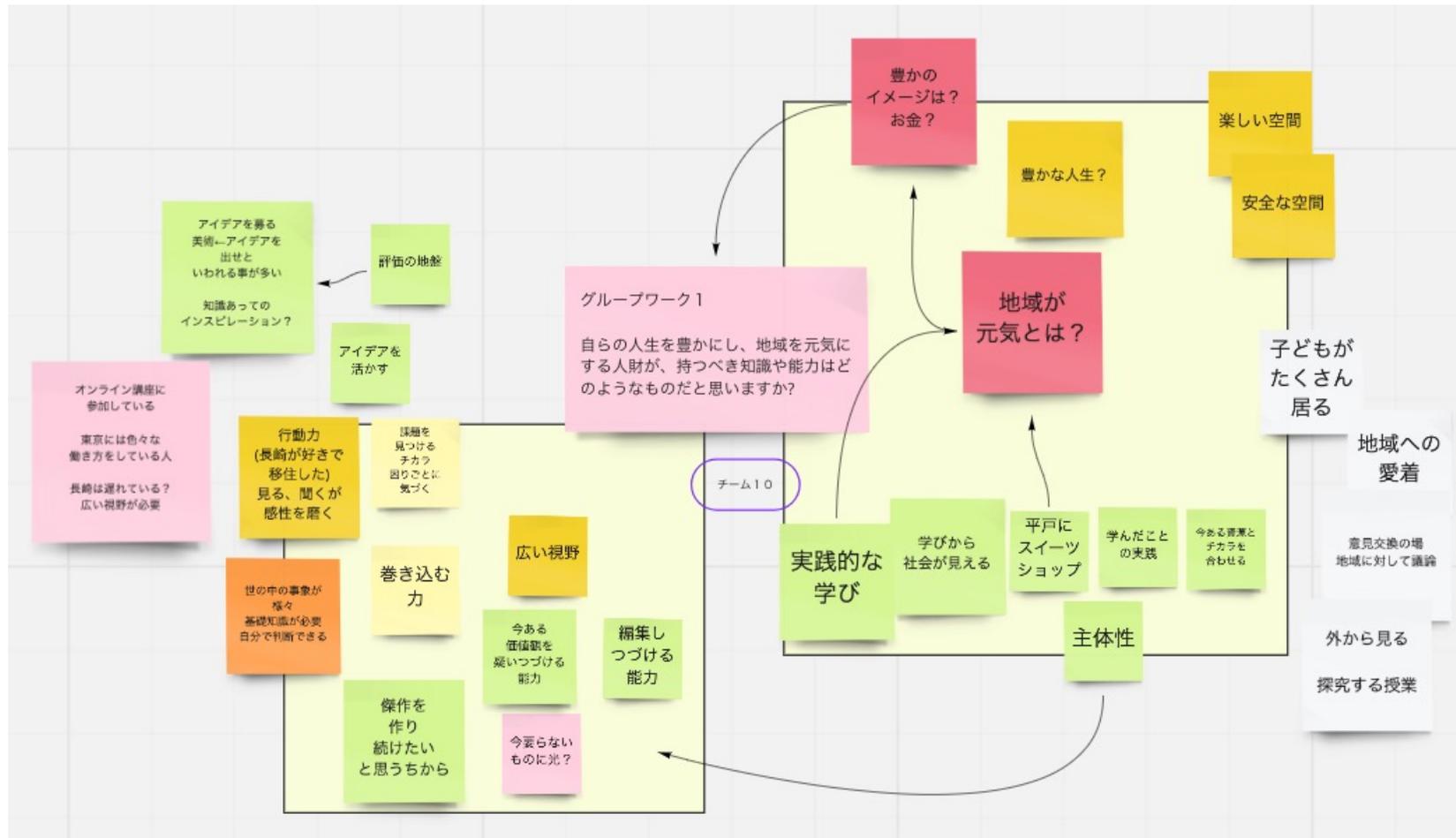
グループワーク1_9

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



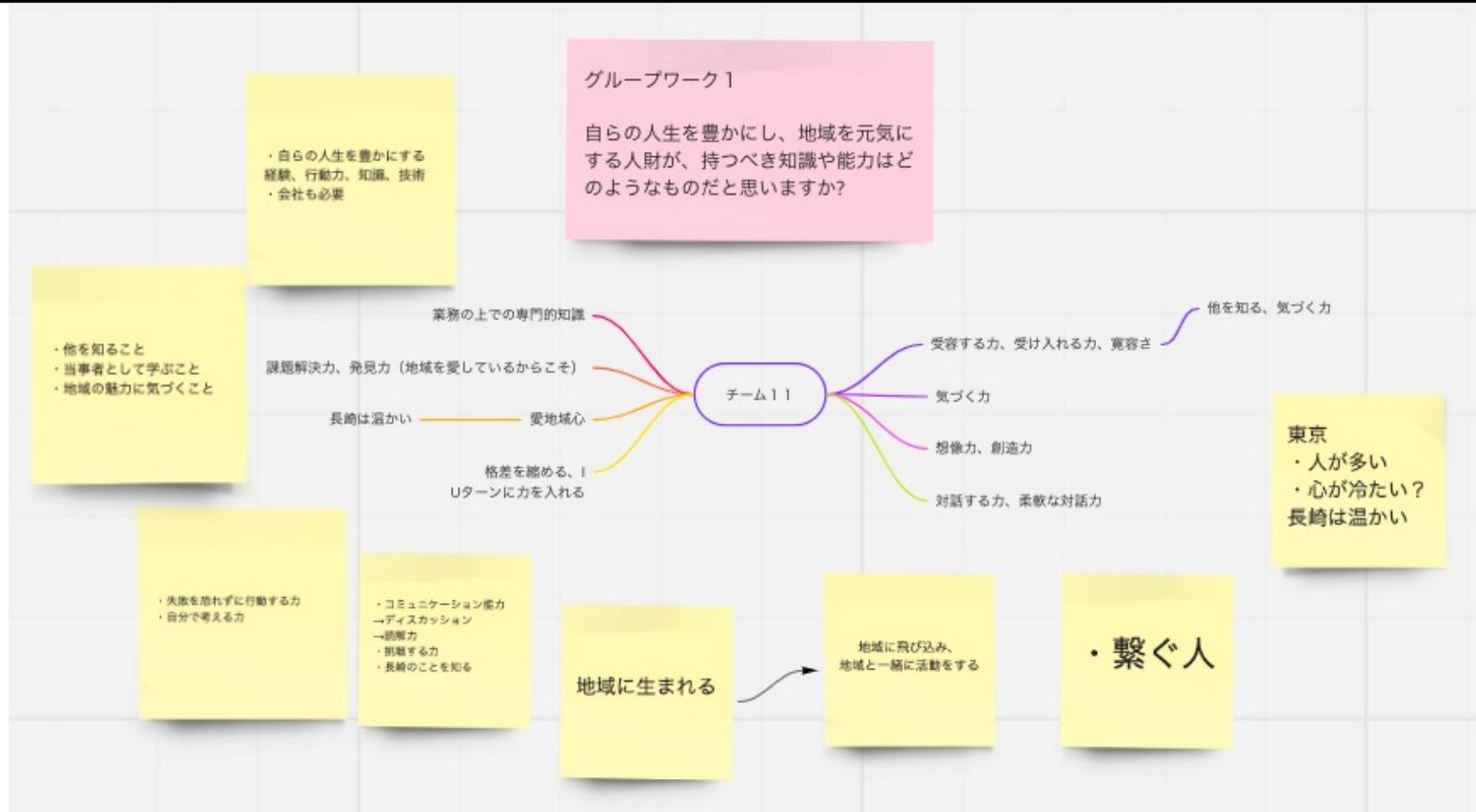
グループワーク1_10

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



グループワーク 1_11

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



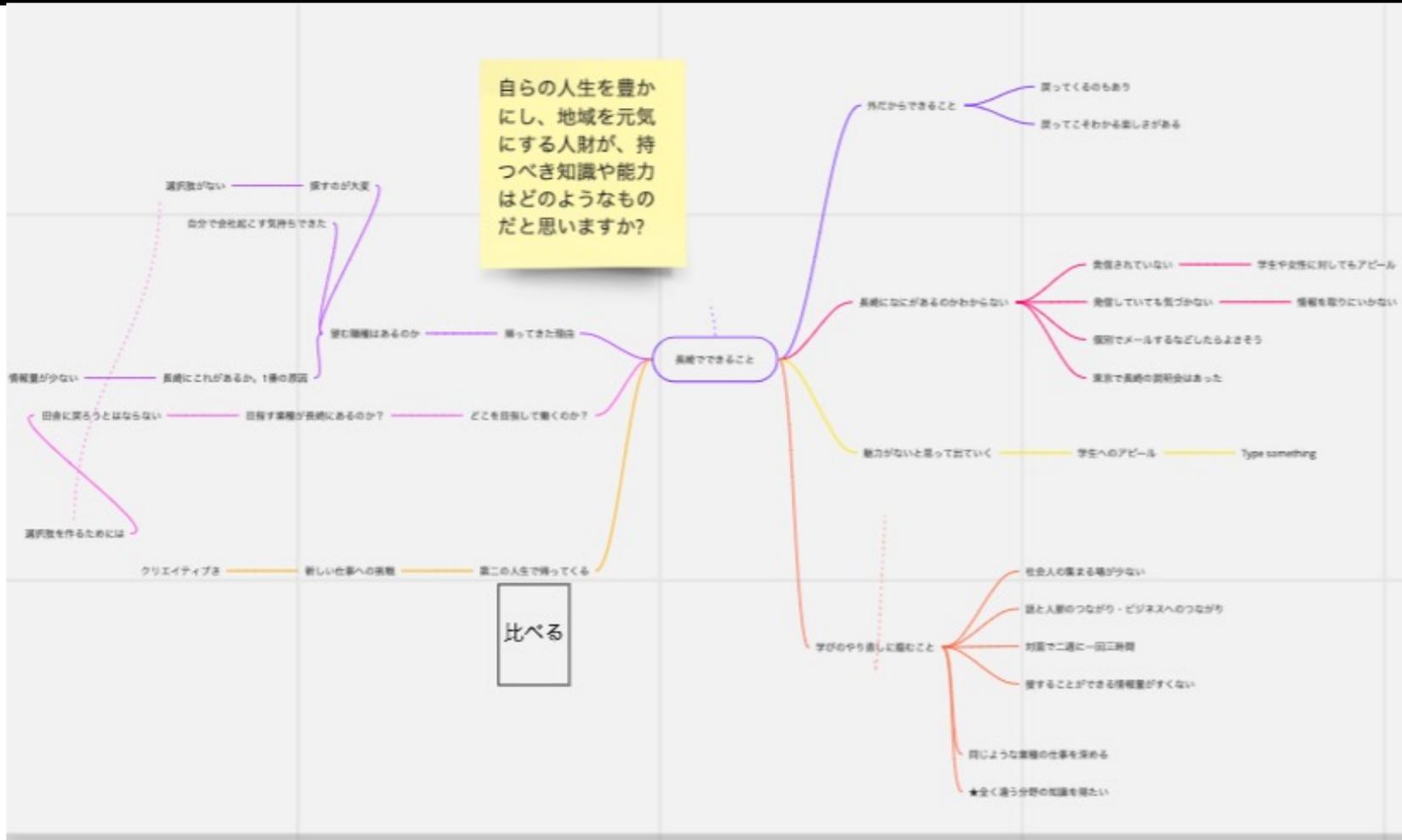
グループワーク1_12

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



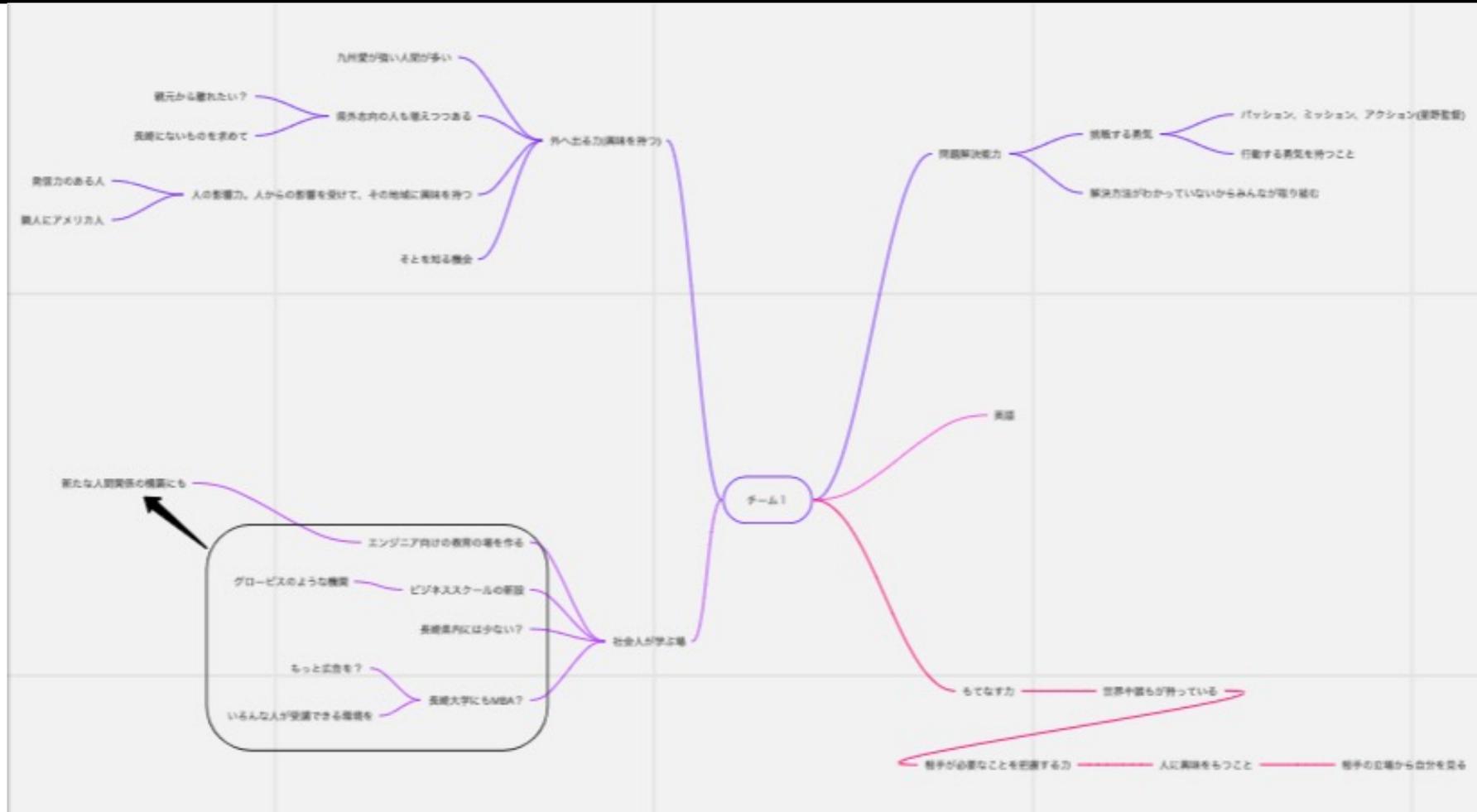
グループワーク1_13

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人財が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？



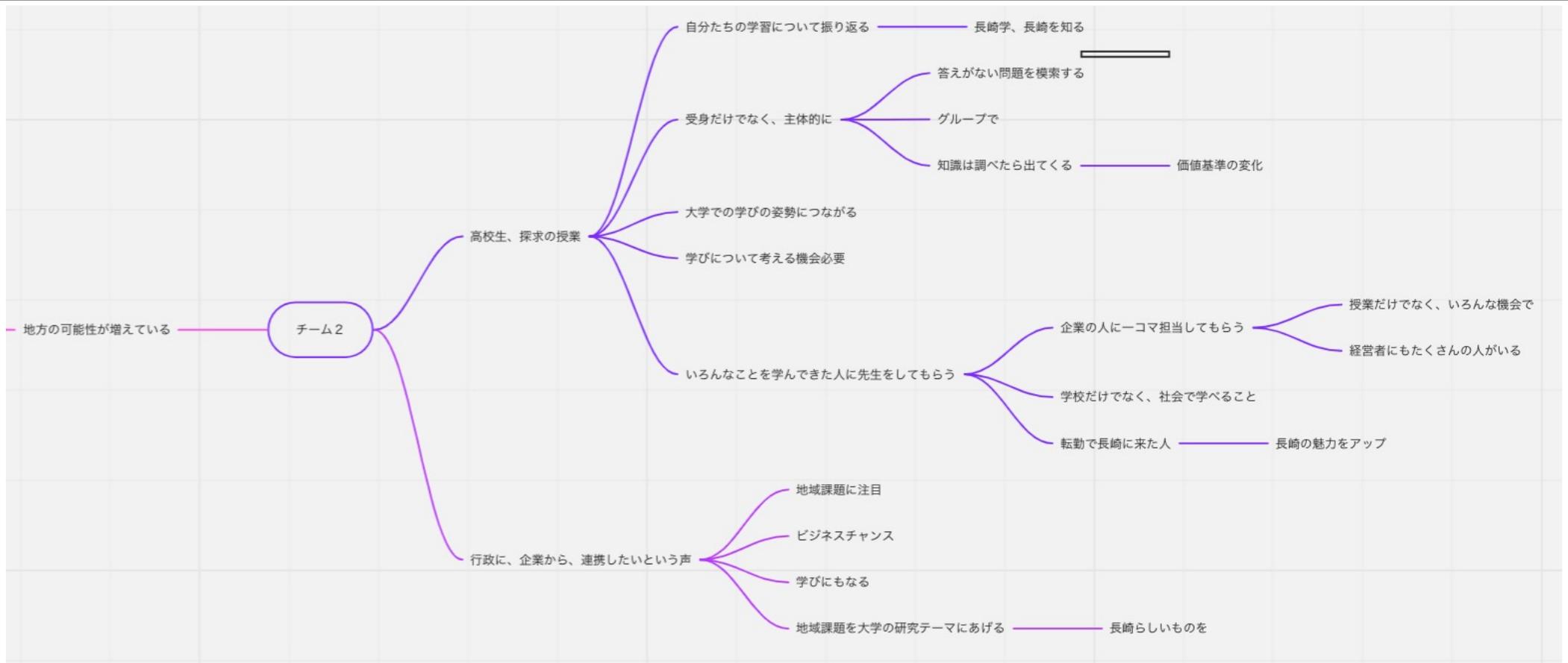
グループワーク2_1

ワーク1で出した学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？



グループワーク2_2

ワーク1で出た学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？



グループワーク2_3

ワーク1で出た学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？

外から帰ってくる中で長崎が理解できる。 情報が届いているかどうかを考える必要がある。(必要な人に必要な情報を) 社会人同士で話す場がほとんどない。				
どういった人が長崎に帰りたいと思うか？ →仕事があるかどうか、長崎を変えたいと思う人。				
長崎に人が残って欲しい。 →学び始めた途中で外に出てしまっている。 →どのような仕事があるのかをわかっていない可能性がある。 →長崎の中の仕事をまずは知る。 →授業や講座として知る機会があると良い。				
フィールドワークで地元の方や地域の方と話すことで、触れ合いを作り、 就職につながる。 →地域の活性化に繋がる。				
5年くらいで高校生に対して県内の企業の情報がいくようになった。 →県内就職率は6割くらいになった。				
進学校に対してもふるさと教育をやっている。 9割は大学で佐世保外に行く。 アーケードのシャッターに絵を描いたりしている。				
大学生との繋がりを増やしたい。 大学の先生とかに高校に来てもらう。				
長崎の悪いところ →少し閉鎖的だと感じることがある。 →若い方が思い切ったことができるような何か雰囲気ができると良い。 →周りに足引っ張られることがある。				
インターンに力を入れている。 →良い体験をしてもらっているが、もっと力を入れていきたい。 →長崎の企業に保守的なところも感じる →イノベーションを考えているような企業に対しての触れ合いを入れる。				
外に出ている人とオンラインの交流は持てる。 →授業の枝葉を伸ばして、国内外のものとのリンクをさせる。				
県庁で都内でUIの県内企業紹介をしている。 東京大学が地方の改善を1年間かけて行うプログラムがある。 地域の課題に学生が触れ合う。				

グループワーク2_4

ワーク1で学んだ学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？

<それぞれのチームのワーク①の内容共有>

- ・**トライできる力**(企業するために)
- ・長崎にどんな事業があるか事業が伝わっていない
⇒そのような情報交換をする場(社会人が集まる場)がない
- ・**地域の魅力を知る必要がある**
- ・**外に出て、帰ってきて貢献できるひとを育成**
- ・基本的(リベラルアーツ)なことを学ぶ
- ・価値観の多様化を受けられるようになる
- ・コミュニティの中で可能性を試していく
それが地域の活性化をつなげる
- ・コミュニケーション能力の高め方
⇒自己表現の力、ロールプレイ
- ・ニュース新聞取り入れる情報をの確からしさを学ぶ力

<ワーク①に対するワーク②>

- ・社会課題を敏感に察知、取り入れる
- ・課題解決を自分に活かせるかたちで学ぶ
- ・長崎の人は長崎の魅力を分かっていない
学生や、県外のひとが思う長崎の魅力を共有
⇒その長崎の魅力をふまえて、地域活性について考える
- ・**高大連携**
高校生と大学生と一緒に学んで発想力の展開にきたい
- ・外からの人と、長崎の人
長崎の人が分かっていない魅力を外からは知っている
県外が思う長崎の魅力：時間の流れがゆっくり、自然体験
- ・長崎は、ちよつと貧乏…。土地は高いのに…。
⇒生活水準をあげにくい。
⇒**長崎を活性化するには、ビジネスが大事。**
⇒**市民の経済が豊かにならないと、地域は豊かにならない**
- ・**社会体験(ビジネス)をできる場**
相手が求めていることを知ることを**主体的**に考えていく
教育の現場は受け身だから**積極的**になれるように

グループワーク①

チーム4

自らの人生を豊かにし、地域を元気にする人材が、持つべき知識や能力はどのようなものだと思いますか？

<長崎について>

- ・九州からみた長崎の魅力と、九州外、国外からみた長崎の魅力が違う
- ・名だたる小説家が長崎を舞台にしている⇒長崎がそれだけ影響力がある。でも、長崎の人は気づいていない
- ・女性が出がち⇒女性が活躍する場がない
- ・長崎は安定した職を得られない⇒収入が得られないから出ていく？
- ・長崎の人たちは外に出たがる、都会にあこがれがある？
- ・長崎は観光地のイメージ、いなかっぼい(いなかっぼい良さ)
- ・活気が少なく感じる
- ・若者(学生)は都会のコンテンツのほうが惹かれる
⇒**敢えて1回都会に出て、その後戻ってきてくれば**
都会から長崎へ行って、そのまま長崎に。大学を通して長崎によぶ。現場も外から人を呼ぶこと
にトライ。
- ・都会に出たあと戻ってくる場がない
⇒じゃあ企業してよい環境作ればいいのでは？
⇒**トライする力や企業する意欲がある人がいない、企業を作る制度や自由度がない**

<そのために必要な力>

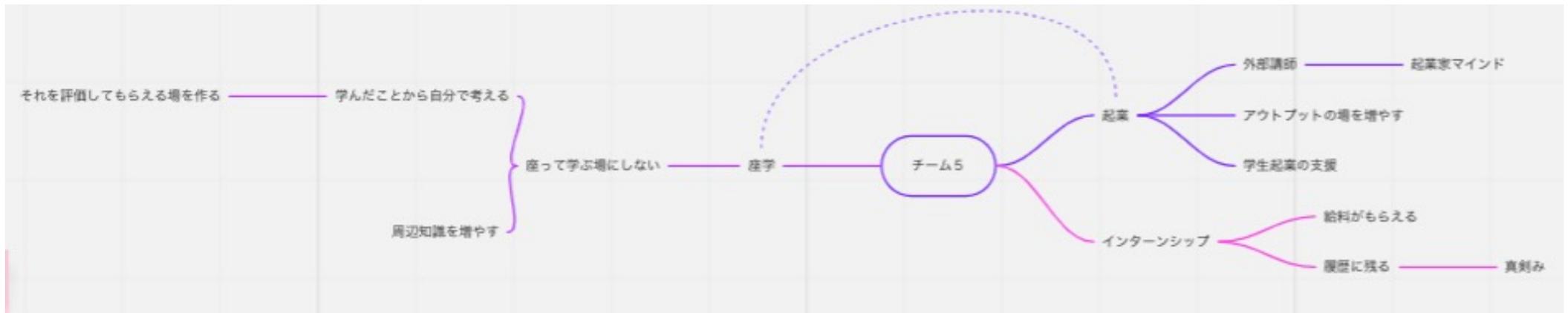
- ・**トライする力、自分で考える力**

<その力を養うための大学>

- ・高校の延長になってしまっている
⇒大学は自由な空間、チャンスがある場であるべき(やりたいことをやる自由がある場所)
- ・長崎をトレーニングの場に

グループワーク2_5

ワーク1で学んだ学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？



グループワーク2_6

ワーク1 で出た学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？

★（重要な要素）長崎らしさ/長崎だから といったところ

→今回の参加者の”共通項”「長崎が好き！」

具体的には・・・

（歴史）昔は世界との窓

（住んでいて）知られざる魅力/新たな気づき

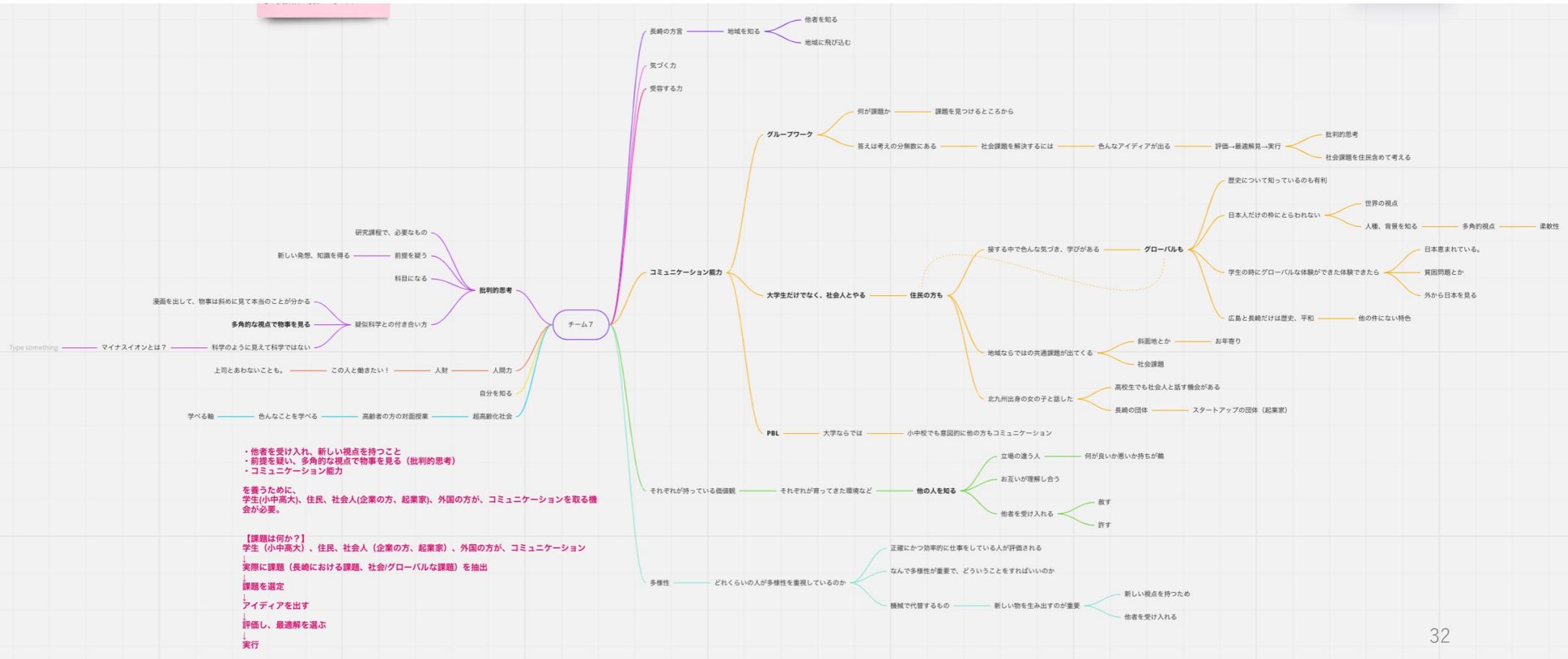
（県民性）まったり感/優しい人が多い 等々

実践力を養えるような教育+長崎らしさというのが
必要な要素なのでは・・・！



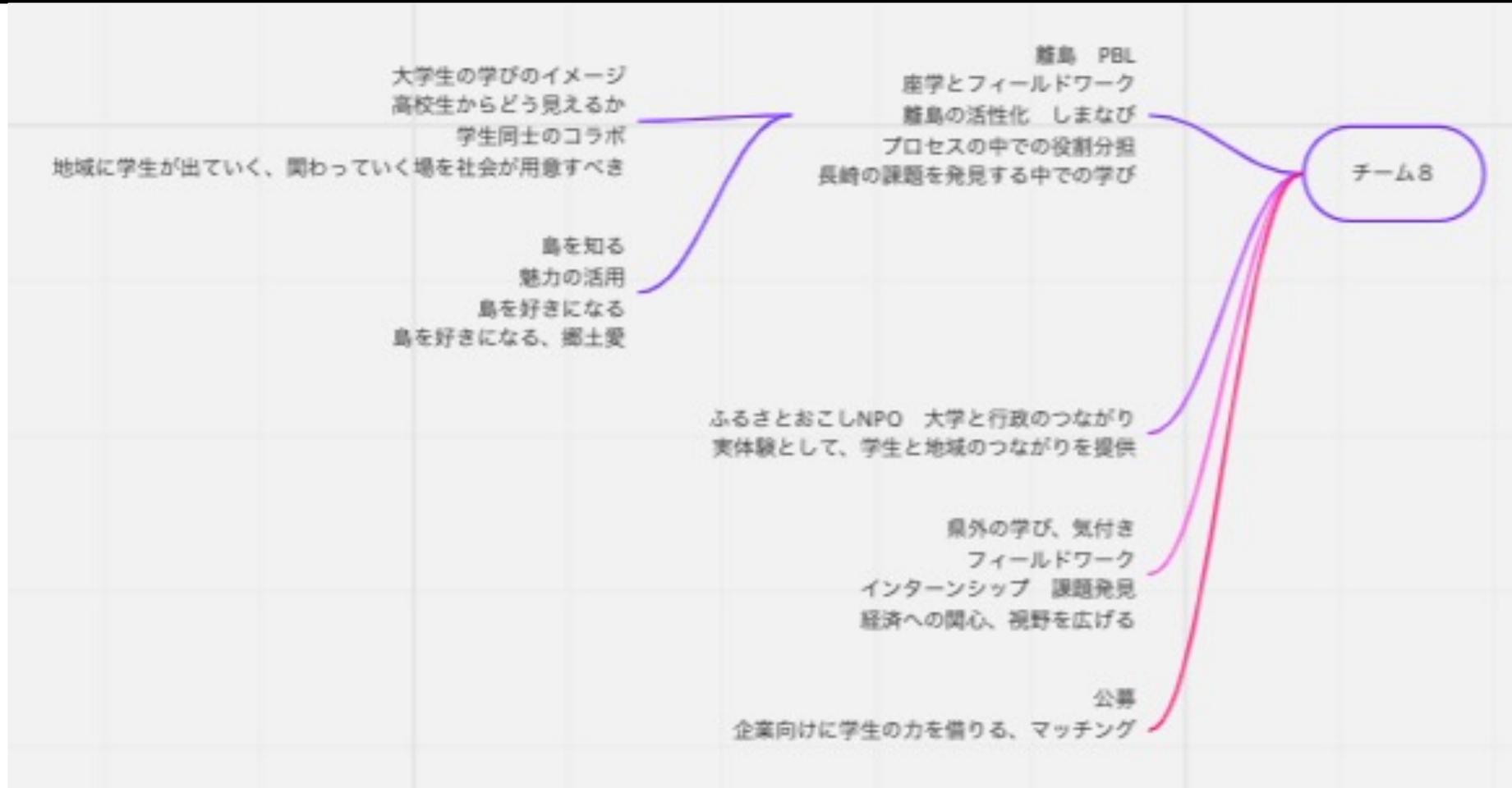
グループワーク2_7

ワーク1で出た学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？



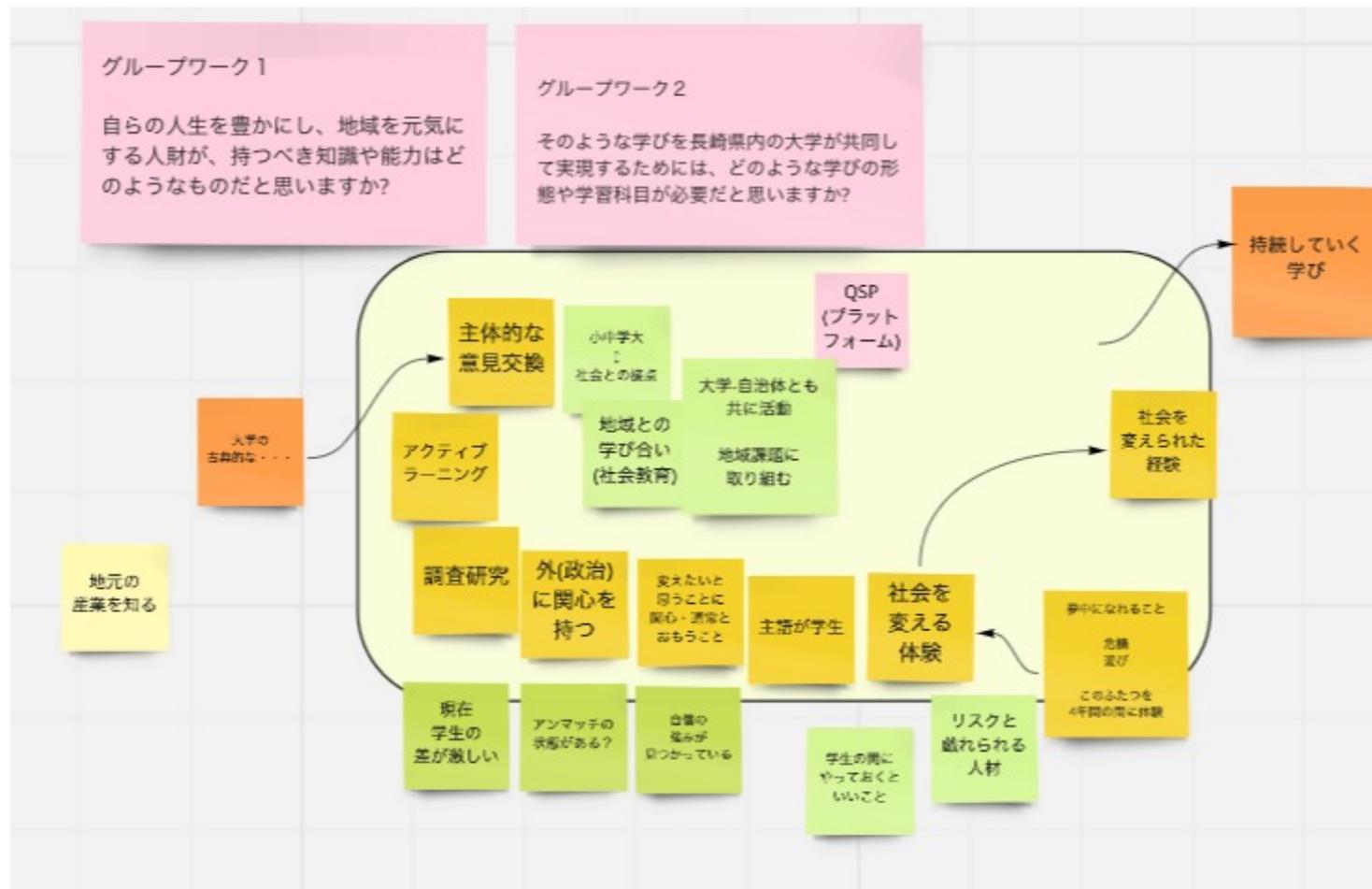
グループワーク2_8

ワーク1で出した学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？



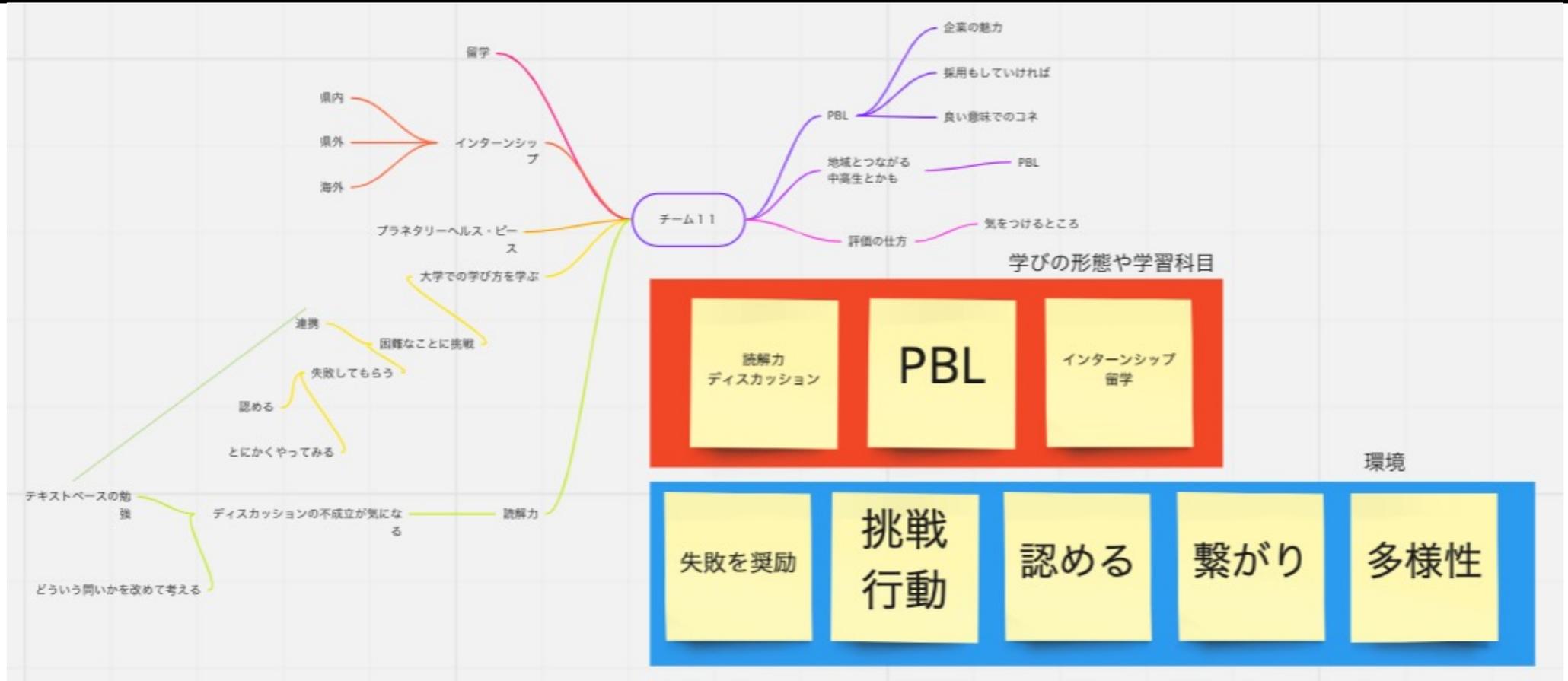
グループワーク2_10

ワーク1で出た学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？



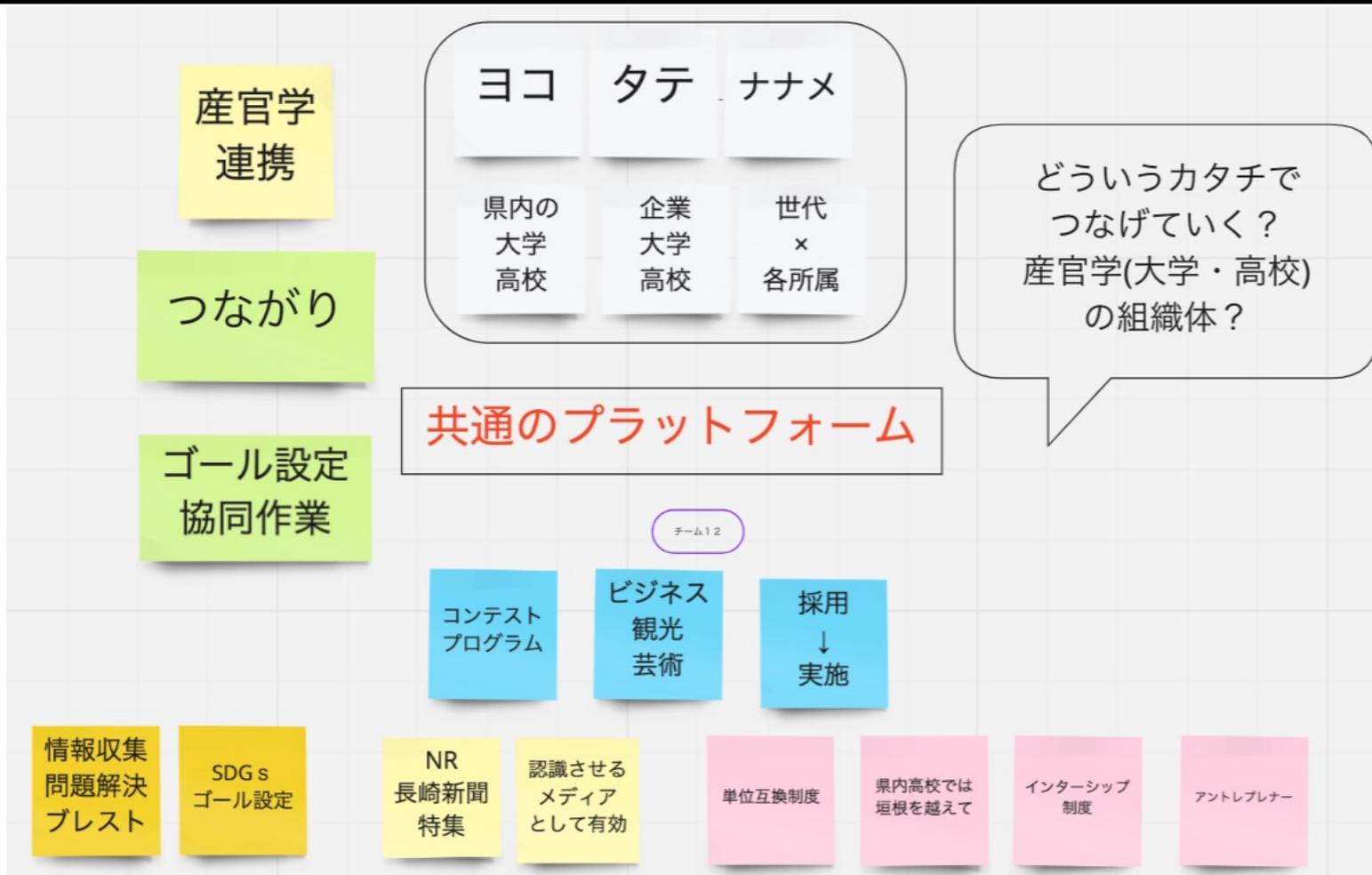
グループワーク2_11

ワーク1で出た学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？



グループワーク2_12

ワーク1で出た学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？



グループワーク2_13

ワーク1で出した学びを長崎県内の大学が共同して実現するためには、どのような学びの形態や学習科目が必要だと思いますか？

